

F02 燃焼機関；熱ガスまたは燃焼生成物を  
利用する機関設備

F02B 内燃式ピストン機関；燃焼機関一般( ガ  
スタービン設備 F 0 2 C ；燃焼生成物を利用す  
る設備 F 0 2 G )

注

( 1 ) このサブクラスにおいては，下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる：

“ 外部式点火 ” は動作流体に対して外的原因による点火，例，電気火花または白熱源によるもの，を意味する；

“ 給気 ( Ch a r g i n g ) ” は機関シリンダ内へ強制的に空気または燃料 空気混合気を入れることを意味し，過給のようなものも含む；

“ 掃気 ” はシリンダから動作ピストンの運動による以外の強制的に燃焼残留物を排気することを意味し，排気方式を適合させるようなものも含む。

( 2 ) クラス F 0 1 の前の注，特に注 ( 1 ) に注意すること。

( 3 ) 特殊なサイクルや多シリンダをもつ機関は他の特徴の分類が優先しないかぎり，グループ 7 5 / 0 2 または 7 5 / 1 6 に分類される。

サブクラス内の索引

流体燃料を利用する機関

加圧流体を特徴とするものまたは点火に特徴のあるもの  
..... 1/00-11/00

燃焼，吸入口または給気，または排気に特徴のあるもの

燃焼

予燃焼室；空気室；燃焼室 ..... 19/00;21/00;23/00

給気；層状給気；給気の回転 ..... 17/00;31/00

燃料供給 ..... 13/00,15/00,49/00

吸入口または給気，または掃気

一般的な特徴；細部 ..... 25/00-29/00;29/00

ポンプ；細部 ..... 33/00-37/00;39/00

効率改善のための特殊な手段 ..... 41/00

液体でない燃料を利用する機関；燃料生成装置との組み合わせ  
..... 43/00,45/00

燃料，空気，混合気の処理または前処理に特徴のある操作  
..... 7/00,47/00,49/00,51/00

特殊な形またはその応用

機関の種類

ピストンの種別：回転式，揺動式；回転式機関または可動シリン  
ダ内で往復動するもの；自由ピストンまたは回転する主軸のな  
いもの ..... 53/00,55/00;57/00,59/00;71/00

転用または相互に交換できる部品 ..... 69/00

特殊な補助装置をもつもの ..... 67/00

その他の種別；構成部分，細部または付属部分 .. 75/00;77/00

2 つまたはそれ以上の機関の組み合わせでその他に分類され  
ないもの ..... 73/00

特別な用途のための機関，その他の装置との組み合わせ  
..... 61/00-67/00

運転 ..... 79/00

圧縮作動流体に特徴のある機関または点火形式に  
特徴のある機関

1/00 燃料 空気の混合気の圧縮に特徴のある機  
関 ( 燃料 空気混合気の圧縮および空気圧  
縮の両方に特徴のあるもの，または外部式  
点火および圧縮点火の両方に特徴のあるも  
の F 0 2 B 1 1 / 0 0 )

1/02 ・ 外部式点火方式をもつもの ( 時期調整さ  
れない外部式点火 F 0 2 B 9 / 0 6 )

1/04 ・ シリンダに燃料 空気の混合気を吸入  
するもの

1/06 ・ ・ ・ その作動方法

1/08 ・ シリンダへの空気および燃料の吸入が  
別々であるもの

1/10 ・ ・ ・ その作動方法

1/12 ・ 圧縮点火方式をもつもの ( 付加された燃  
料の圧縮点火により燃料 空気の給気を  
点火するもの F 0 2 B 7 / 0 0 )

1/14 ・ ・ ・ その作動方法

3/00 空気圧縮後に燃料を供給することに特徴の  
ある機関 ( 燃料 空気混合気の圧縮および  
空気圧縮の両方に特徴のあるもの，または  
外部式点火および圧縮点火の両方に特徴の  
あるもの F 0 2 B 1 1 / 0 0 )

3/02 ・ 外部式点火方式をもつもの ( 時期調整さ  
れない外部式点火 F 0 2 B 9 / 0 6 )

3/04 ・ ・ ・ その作動方法

3/06 ・ 圧縮点火方式をもつもの ( シリンダ内の  
圧縮空気に燃料を吹き込むために空気ま  
たは気体を利用する圧縮点火機関 F 0 2  
B 1 3 / 0 2 )

3/08 ・ ・ ・ その作動方法 ( F 0 2 B 3 / 1 2 が優  
先 )

3/10 ・ ・ 間欠的な燃料供給をもつもの

3/12 ・ ・ ・ ・ ・ その作動方法

5/00 外部式点火に特徴のある機関 ( 燃料 空気  
の混合気の圧縮に特徴のある機関 F 0 2 B  
1 / 0 2 ；空気圧縮後に燃料を供給するこ  
とに特徴のある機関 F 0 2 B 3 / 0 2 ；時  
期調整されない外部式点火 F 0 2 B 9 / 0  
6 ；燃料 空気混合気の圧縮および空気圧  
縮の両方に特徴のあるもの，または外部式  
点火および圧縮点火の両方に特徴のあるも  
の F 0 2 B 1 1 / 0 0 )

5/02 ・ ・ ・ ・ ・ その作動方法

7/00 付加された燃料の圧縮点火によって燃料  
空気の給気を点火することに特徴のある機  
関 ( 燃料 空気混合気の圧縮および空気圧  
縮の両方に特徴のあるもの，または外部式  
点火および圧縮点火の両方に特徴のあるも  
の F 0 2 B 1 1 / 0 0 )

- 7/02 ・その給気内の燃料が液体であるもの
- 7/04 ・ ・その作動方法
- 7/06 ・その給気内の燃料が気体であるもの
- 7/08 ・ ・その作動方法
- 9/00 その他の点火形式に特徴のある機関（燃料  
空気混合気の圧縮および空気圧縮の両方  
に特徴のあるもの、または外部式点火およ  
び圧縮点火の両方に特徴のあるもの F 0 2  
B 1 1 / 0 0 ）
- 9/02 ・圧縮点火させるもの（燃料 空気の混合  
気の圧縮に特徴のある機関 F 0 2 B 1 /  
1 2 ；空気圧縮後に燃料を供給すること  
に特徴のある機関 F 0 2 B 3 / 0 6 ）
- 9/04 ・ ・その作動方法
- 9/06 ・時期調整されない外部式点火をするもの、  
例、焼き玉をもつもの
- 9/08 ・ ・熱源室をもつもの
- 9/10 ・ ・ ・その室の形状または構造
- 11/00 燃料 - 空気混合気の圧縮および空気圧縮の  
両方に特徴のある機関、あるいは外部式点  
火および圧縮点火の両方に特徴のある機関、  
例、別々のシリンダ内におけるもの
- 11/02 ・燃料 - 空気の混合気の圧縮から空気圧縮  
にまたはその逆に変換し得るもの

#### シリンダに液体燃料を供給する方法に特徴のある 機関

- 13/00 補助流体の利用によりシリンダ内へ液体燃  
料を供給することに特徴のある機関
- 13/02 ・シリンダ内の圧縮空気に燃料を吹き込む  
ために空気または気体を利用する圧縮点  
火機関
- 13/04 ・ ・そのポンプの装置または応用
- 13/06 ・ポンプ内で補助的空気および燃料が混合  
され、その中で点火されずに圧縮され、  
そしてその燃料 - 空気の混合気がシリン  
ダ内の空気中へ噴射される機関
- 13/08 ・ ・そのポンプの装置または応用
- 13/10 ・特別な補助流体、例、蒸気、燃焼ガス、  
を利用するもの
- 15/00 シリンダへの液体燃料供給方法に特徴のあ  
るもので、その他に分類されない機関
- 15/02 ・シリンダに燃料を直接吸入するための手  
段をもつもの
- 17/00 シリンダ内の給気の層状化を効果的にする  
ための手段に特徴がある機関

#### 予燃焼室または空気室に特徴のある機関、あるいは 作動改善のための燃焼室の特別な形状または構造 に特徴のある機関

- 19/00 予燃焼室を有することに特徴がある機関
- 19/02 ・予燃焼室がシリンダから周期的にしゃ断

されるもの

- 19/04 ・ ・そのしゃ断がピストン上またはシリン  
ダヘッドの突起より生ずるもの
- 19/06 ・シリンダ空間に点火された給気を移動さ  
せるためにその室内に補助的なピストン  
をもつもの
- 19/08 ・空気旋回形の予燃焼室であるもの
- 19/10 ・予燃焼室に幾分かの燃料を、そしてシリ  
ンダ内にも幾分かの燃料を供給するもの
- 19/12 ・外部式点火方式をもつもの（時期調整さ  
れない外部式点火をするもののうち熱源  
室をもつもの F 0 2 B 9 / 0 8 ）
- 19/14 ・圧縮点火方式をもつもの
- 19/16 ・サブクラス F 0 2 B 1 9 / 0 2 ~ F 0 2  
B 1 9 / 1 0 に特有でない予燃焼室の形  
状または構造
- 19/18 ・ ・その室とシリンダ間の移送通路
- 21/00 空気室を有することに特徴がある機関
- 21/02 ・その室の形状または構造
- 23/00 作動改善のための燃焼室の特殊な形状また  
は構造に特徴があるその他の機関（熱源室  
をもつ機関 F 0 2 B 9 / 0 8 ）
- 23/02 ・圧縮点火によるもの
- 23/04 ・ ・燃焼空間が2つまたはそれ以上の室に  
小分けにされているもの（予燃焼室をも  
つもの F 0 2 B 1 9 / 0 0 ）
- 23/06 ・ ・燃焼空間が動作ピストン内にあるもの  
（ F 0 2 B 2 3 / 0 4 が優先）
- 23/08 ・外部点火方式をもつもの
- 23/10 ・ ・シリンダ内に空気および燃料が別々に  
吸入されるもの

#### 給気または掃気装置に特徴のある機関

- 25/00 シリンダ掃気のために新気を利用すること  
に特徴のある機関
- 25/02 ・単一方向掃気を利用するもの
- 25/04 ・ ・シリンダヘッド内およびピストン行程  
の底部近くのシリンダ壁内の両方にその  
開口部をもっている機関
- 25/06 ・ ・ ・そのシリンダヘッド側の開口部が動  
作ピストンにより制御されるもの、例、  
動作ピストンのスリーブ形状をした延長  
部分によるもの
- 25/08 ・ ・対向往復動作ピストンをもつ機関
- 25/10 ・ ・ ・他のものより小さい直径かまたは短  
行程の1つのピストンをもつもの
- 25/12 ・ ・ U形のシリンダをもつ機関で、その各  
腕にその開口部をもつもの
- 25/14 ・反転形掃気法を利用するもの、例、吸  
入口および排気口の両方がピストン行程  
の底部近くにあるもの
- 25/16 ・ ・その給気が実質的に吸入口の反対側の  
シリンダ壁にそって上方へ流れるもの

25/18	・その給気が実質的に吸入口側のシリンダ壁にそって流れるもの、例．ピストン上の偏向リブによるもの	31/02	・機関内にシリンダ軸に偏心して配置された吸入弁をもつもの ( F 0 2 B 3 1 / 0 8 が優先 ) [ 6 ]
25/20	・その給気および燃焼残留物との混合を減少させまたは排気口を通じて新気の逃げを防止するための手段で、サブグループ F 0 2 B 2 5 / 0 2 ~ F 0 2 B 2 5 / 1 8 に分類されないもの	31/04	・吸入経路内の手段によるもの、例．デフレクタ [ 6 ]
25/22	・給気と燃焼残留物との間に空気クッションを形成して行うもの	31/06	・可動手段によるもの、例．パタフライ弁 [ 6 ]
25/24	・吸入口または排気口の開きが下死点に関して非対称な関係で時期調整されたもの	31/08	・多数の空気取入口をもつもの [ 6 ]
25/26	・サブグループ F 0 2 B 2 5 / 0 2 ~ F 0 2 B 2 5 / 2 4 に分類されないまたはそれ以外に特徴のある多シリンダ機関 ( 回転式機関の内部燃焼に関するもの F 0 2 B 5 7 / 0 0 )	<u>給気または掃気ポンプを装備することに特徴のある機関</u>	
25/28	・V形、扇形または星形配列のシリンダをもつもの	33/00	給気用または掃気用のポンプの装備に特徴のある機関
27/00	給気量を改善し、または燃焼残留物の排出量を増大させるために、吸入系統の給気の、または排気系統における燃焼残留物の運動または波動エネルギーの利用	33/02	・往復動ピストン式ポンプをもつ機関；クランクケースのポンプをもつ機関
27/02	・可変の、すなわち調整可能な横断面積、可変の容積の室、またはその様な可変手段を有する系統 ( 排気系統内だけのもの F 0 2 B 2 7 / 0 6 )	33/04	・単純なクランクケースのポンプをもつもの、すなわちそのクランクケースと協動して唯一のポンプ部材として働く段の付かない動作ピストンの背面をもつもの
27/04	・排気系統だけにあるもの、例．燃焼ガスを吸い出すためのもの	33/06	・単純なクランクケースのポンプ以外の往復動ピストン式ポンプをもつもの
27/06	・可変の、すなわち調整可能な横断面積、可変の容積の室、またはその様な可変手段を有する系統	33/08	・動作用シリンダとポンプ用シリンダの間に配置された動作シリンダヘッドをもつもの
29/00	給気または掃気のための装備に特徴のある機関でグループ F 0 2 B 2 5 / 0 0 , F 0 2 B 2 7 / 0 0 または F 0 2 B 3 3 / 0 0 ~ F 0 2 B 3 9 / 0 0 に分類されないもの；その細部	33/10	・動作用シリンダとクランクケースとの間に配置されたポンプ用シリンダをもつもの、または動作用シリンダの周囲にポンプ用シリンダをもつもの
29/02	・給気量を改善するために吸入系統に他の流体力学的な特徴を有するもの ( 同様にシリンダ内の給気に回転を与えるもの F 0 2 B 3 1 / 0 0 )	33/12	・動作ピストンの背面がポンプ部材として働き、クランクケースから分離されたポンプ室と協動するもので、連接棒がその室を貫通し、可動の分離部材と協働するもの
29/04	・供給する吸入空気 of 冷却	33/14	・段付きピストンの形状をした動作用ピストンおよびポンプ用ピストンを有するもの
29/06	・後給気するもの、すなわち掃気の後補助の給気をするもの	33/16	・異なった運動をする動作用ピストンおよびポンプ用ピストンを有するもの
29/08	・給気の目的のために分配弁の開閉時期の改良を行うもの ( F 0 2 B 2 9 / 0 6 が優先 )	33/18	・動作用シリンダとポンプ用シリンダの間に配置されたクランク軸をもつもの
31/00	シリンダ内の給気に回転を与えるために改良された吸入系統 ( 内燃機関に適用される空気 of 取入や吸入系統 F 0 2 M 3 5 / 1 0 )	33/20	・動作用シリンダ軸にある角度をもって配置されたポンプ用シリンダ軸をもつもの、例．90度の角度のもの
		33/22	・動作用シリンダの側面に配置されたポンプ用シリンダをもつもの、例．並行になっているシリンダ
		33/24	・往復動式ピストンだけをもつポンプとは異なったクランクケースのポンプをもつもの
		33/26	・クランクケースのポンプを有することに特徴のある4サイクル機関
		33/28	・クランクケースのポンプの構成部分、細部または付属品で、サブグループ F 0

	2 B 3 3 / 0 2 ~ F 0 2 B 3 3 / 2 6 に分類されないまたはそれ以外に特徴のあるもの		プ F 0 2 B 3 3 / 0 0 ~ F 0 2 B 3 7 / 0 0 に分類されないもの
33/30	・ ・ ・ 吸入口または排気口の制御	39/02	・ ポンプの駆動（排気駆動または排気と他の駆動するものとの組み合わせ F 0 2 B 3 7 / 0 0 ）; ポンプ駆動歯車比を変化しうるもの
33/32	・ 往復動式ピストン形以外のポンプのある機関（クランクケースのポンプをもつもの F 0 2 B 3 3 / 0 2 ）	39/04	・ ・ 機械的駆動; 歯車比可変の駆動装置（可変歯車比を有する非機械駆動ポンプ F 0 2 B 3 9 / 0 8 ）
33/34	・ ・ 回転式ポンプをもつもの（セル形圧力変換器またはそれに類するもの F 0 2 B 3 3 / 4 2 ）	39/06	・ ・ ・ 機関のトルクがポンプおよびその機関の出力軸を駆動するために差動歯車により分配されるもの
33/36	・ ・ ・ 容積形のもの	39/08	・ ・ 非機械的駆動，例．可変歯車比を有する流体駆動
33/38	・ ・ ・ ・ ルーツ形のもの	39/10	・ ・ ・ 電気的なもの
33/40	・ ・ ・ 容積形でないもの	39/12	・ ・ 継手またはクラッチの利用に特徴のある駆動装置（歯車比を変えるため流体摩擦継手を利用するもの F 0 2 B 3 9 / 0 8 ）
33/42	・ ・ 燃焼ガス圧力を新気の圧力に直接変換するための駆動装置をもつもの，例．セル形圧力交換器をもつもの	39/14	・ ポンプの潤滑; それらのための保護方法
33/44	・ ポンプから機関吸入口に給気を導入する通路，例．空気だめ	39/16	・ ポンプの他の保護方法または他の制御
35/00	シリンダから燃焼残留物を吸い出すためのポンプの装備に特徴のある機関		
35/02	・ 回転式ポンプを利用するもの		
37/00	排気により少なくなくとも一時期駆動されるポンプの装備に特徴のある機関	41/00	熱または圧力エネルギーの機械力への変換を改善するための特殊な手段に特徴のある機関
37/007	・ 並列に配列した排気駆動ポンプをもつもの [ 6 ]	41/02	・ 膨張を長びかせるもの
37/013	・ 直列に配列した排気駆動ポンプをもつもの [ 6 ]	41/04	・ ・ 主シリンダ内にあるもの
37/02	・ 機関排気口とポンプ駆動との間のガス通路を有するもの，例．ガスだめ	41/06	・ ・ 複合シリンダ内にあるもの
37/04	・ 排気によるポンプの駆動およびその他の駆動をもつ機関，例．排気による駆動ポンプおよび機械駆動の補助ポンプをもつもの	41/08	・ ・ ・ 2 サイクル複合機関
37/10	・ ・ 少くとも 1 個のポンプが排気とその他の駆動手段とにより交替的に駆動されるもの [ 3 ]	41/10	・ ・ 排気タービンを用いるもの（給気用に排気タービンを利用するもの F 0 2 B 3 7 / 0 0 ）
37/11	・ ・ ・ 始動時のみ他の駆動手段により駆動するもの [ 6 ]	<u>非液体燃料で作動する機関; そのような機関を含む設備, すなわち機関と燃料発生装置との組み合わせ</u>	
37/12	・ ポンプの制御 [ 3 ]	43/00	ガス状の燃料で作動することに特徴のある機関; そのような機関を含む設備（付加された燃料の圧縮点火により点火されるガス空気の給気に特徴のある機関 F 0 2 B 7 / 0 6 ; ガスから他の燃料消費に転換可能な機関 F 0 2 B 6 9 / 0 4 ）
37/14	・ ・ 排気によるポンプの駆動とその他の駆動手段との切り換えに関するもの，例．速度によるもの [ 3 ]	43/02	・ 作動効率向上のための手段に特徴のある機関
37/16	・ ・ 吸気のバイパスによるもの [ 6 ]	43/04	・ ・ 燃焼効率改善のためのもの
37/18	・ ・ 排気のバイパスによるもの [ 6 ]	43/06	・ ・ 給気量を増大させるためのもの
37/20	・ ・ 排気エネルギーの増加によるもの，例．燃焼室を用いるもの [ 6 ]	43/08	・ 機関がその設備内で固体燃料，例．まき，から発生させた気体燃料を利用することに特徴のある設備
37/22	・ ・ 排気通路または空気通路の断面積の変化によるもの [ 6 ] ( F 0 2 B 3 7 / 2 4 優先 )	43/10	・ 他の特殊な気体，例．アセチレンガス，酸水素ガス，の利用に特徴のある機関または設備
37/24	・ ・ 調節可能なガイドベーンをもつポンプまたはタービンの使用によるもの [ 6 ]	43/12	・ ・ その作動方法
39/00	駆動される給気または掃気ポンプに関連する構成部品，細部または付属品で、グルー	45/00	ガス以外の非液体燃料で作動することに特

	徴がある機関；そのような機関を含む設備（固体燃料から気体燃料の発生装置を含む設備 F 0 2 B 4 3 / 0 8 ；ガスから他の燃料消費へ転換可能な機関 F 0 2 B 6 9 / 0 4 ）	53/12	・点火
		53/14	・他の装置を駆動するための機関の応用，または機関と他の装置との組み合わせ
45/02	・粉末燃料，例．微粉炭，で作動するもの，（酸化剤を含む燃料で作動するもの F 0 2 B 4 5 / 0 6 ）	55/00	回転ピストンの内部燃焼；回転ピストンと協働する外側部材に関するもの
45/04	・その設備，例．石炭粉碎装置を有するもの	55/02	・ピストン
45/06	・酸化剤を含む燃料で作動するもの	55/04	・それらの冷却
45/08	・その他の固体燃料で作動するもの	55/06	・空気またはその他の気体によるもの
45/10	・液体燃料および非液体燃料との混合物，例．のり状または発泡状の混合物，で作動するもの	55/08	・回転ピストンと協働する外側部材；ケーシング
		55/10	・それらの冷却
		55/12	・空気またはその他の気体によるもの
		55/14	・燃焼室の形状または構造
		55/16	・ピストン内または外側部材内の給気または排気通路
<u>特殊な前処理を含む機関，または機関の燃焼すべき空気，燃料または燃料 - 空気の混合気に特殊な物質を添加する機関で他に分類されないものの作動方法</u>		<u>可動シリンダを有する往復動ピストン式機関の内部燃焼に関するもの</u>	
47/00	機関の燃焼すべき空気，燃料または燃料 - 空気の混合気に非燃料物質またはアンチノック剤を添加させる機関の作動方法	57/00	燃焼ガスが 1 個またはそれ以上の往復動ピストンを作動する回転式機関の内部燃焼に関するもの
47/02	・その物質が水または水蒸気であるもの	57/02	・燃料または燃焼空気の供給（シリンダの給気吸入または排気を制御するもの F 0 2 B 5 7 / 0 4 ）
47/04	・その物質が水または水蒸気だけでないもの	57/04	・シリンダの給気吸入または排気の制御（動作ピストンで制御された給気吸入または排気を有する 2 サイクル機関またはその他の機関に特有なもの F 0 2 B 5 7 / 0 6 ）
47/06	・その物質が空気中の酸素以外の酸素を含むもの（F 0 2 B 4 7 / 1 0 が優先）	57/06	・動作ピストンで制御されたシリンダへの給気吸入または排気を有する 2 サイクル機関またはその他の機関（星形の中心に燃焼空間をもつもの F 0 2 B 5 7 / 1 0 ）
47/08	・排気ガスを含む物質	57/08	・星形のシリンダ配列をもつ機関
47/10	・密閉または半密閉回路における排気ガスの循環，例．同時に酸素を添加するもの	57/10	・星形の中心に燃焼空間をもつもの
49/00	機関の吸入口に微細な霧状の少量の燃料を供給する空気圧縮点火機関の作動方法	59/00	可動シリンダ，例．揺動シリンダ，を有するその他の往復動ピストン式機関の内部燃焼に関するもの（壁がたわむもの F 0 2 B 7 5 / 3 8 ）
51/00	機関の燃焼すべき空気，燃料または燃料 - 空気の混合気を前処理する，またはそれらに添加剤を与える機関の他の作動方法		
51/02	・触媒を含むもの		
51/04	・電気または励磁を与えるもの		
51/06	・光線または音波を与えるもの		
<u>回転ピストン式または揺動ピストン式機関の内部燃焼に関するもの</u>		<u>特殊な用途のための機関の応用；機関と機関部品または補機以外の装置との組み合わせ</u>	
53/00	回転ピストン式または揺動ピストン式機関の内部燃焼（回転ピストンまたはそれと共に協働する外側部材 F 0 2 B 5 5 / 0 0 ）に関するもの	61/00	車両の駆動またはプロペラの駆動のための機関の応用；機関と伝動装置との組合せ（機関のトルクが掃気または給気ポンプおよびその機関の出力軸を駆動するために差動歯車により分配されるもの F 0 2 B 3 9 / 0 6 ；回転式ピストンまたは揺動式ピストン機関の応用または組み合わせ F 0 2 B 5 3 / 1 4 ）
53/02	・その作動方法	61/02	・2 輪または 3 輪車を駆動するためのもの
53/04	・給気の吸入または燃焼ガスの排気	61/04	・プロペラを駆動するためのもの
53/06	・それらのための弁制御	61/06	・機関と機械的伝動装置との組み合わせ（F
53/08	・給気（charging），例．回転ピストンのポンプ作用によるもの		
53/10	・燃料供給；燃焼空間に燃料を供給するもの		

	0 2 B 6 1 / 0 2 , F 0 2 B 6 1 / 0 4 が優先)	75/02	・ サイクルに特徴のある機関, 例 . 6 サイクルのもの
63/00	ポンプ, 手持ち工具, または発電機を駆動するための機関の応用; 機関と機関により駆動される装置との携帯可能な組み合わせ (回転ピストン式または揺動ピストン式機関のもの F 0 2 B 5 3 / 1 4 )	75/04	・ 上死点位置におけるピストンとシリンダヘッドの間の距離を変化し得る機関
63/02	・ 手持ち工具のためのもの	75/06	・ トルクを一定にするための手段を有する機関
63/04	・ 発電機のためのもの	75/08	・ ガスにさらされる空間における腐食防止のための手段を有する機関
63/06	・ ポンプのためのもの	75/10	・ 排気を無害にするための手段を有する機関 (装置それ自体 F 0 1 N 3 / 0 0 )
65/00	グループ F 0 2 B 6 1 / 0 0 または F 0 2 B 6 3 / 0 0 に分類されない特殊な用途のための機関の応用; 機関と他の装置, 例 . 駆動されない装置, との組み合わせ (回転ピストン式または揺動ピストン式機関のもの F 0 2 B 5 3 / 1 4 ; 相互または共同の推進のための電動機と内燃機関からなる原動力の組み合わせ B 6 0 K 6 / 2 0 )	75/12	・ その他の作動方法
		75/16	・ シリンダ数に特徴のある機関, 例 . 単シリンダ機関 ( F 0 2 B 7 5 / 2 6 が優先)
		75/18	・ ・ 多シリンダ機関 (掃気装置に着目する場合 F 0 2 B 2 5 / 0 0 )
		75/20	・ ・ ・ すべてのシリンダが 1 列にならんだもの
		75/22	・ ・ ・ V 形, 扇形, または星形配列のシリンダをもつもの
		75/24	・ ・ ・ 主軸に対し向いあって配列されたシリンダで “ 平行 ” のもの
		75/26	・ シリンダ軸心が主軸軸心と同軸, または平行あるいは傾斜している機関; 実質的に主軸軸心に中心を置く円の接線方向に配列されたシリンダ軸心をもつ機関
67/00	他に分類されない補助装置の配置に特徴のある機関, 例 . 異なった機能を有する装置; 機関から補助装置を駆動するもので, 他に分類されないもの	75/28	・ 同一シリンダ内または本質的に同軸のシリンダ内で往復動する 2 つまたはそれ以上のピストンをもつ機関 (主軸に対し向いあって配列してあるもの F 0 2 B 7 5 / 2 4 )
67/04	・ 機械駆動の補助装置	75/30	・ ・ 他のピストン内部でしゅう動する動作ピストンをもつもの
67/06	・ ・ チェーン, ベルトまたはそのような無端可撓部材によって駆動されるもの	75/32	・ ピストンと主軸との間の連結に特徴のある機関で前記メイングループに属しないもの
67/08	・ 非機械駆動の補助装置	75/34	・ 極端に小さい機関, 例 . 模型を駆動するもの
67/10	・ 給気もしくは掃気装置 [ 5 ]	75/36	・ 圧力下で弾性変形する燃焼室または作動室の壁の部分をもつ機関
69/00	1 1 / 0 0 に分類されないもので, 他の燃焼機関形式に変換可能な内燃機関; 異なる形式で同一の主要機関部品を容易に利用し得る構造に特徴のある内燃機関	75/38	・ ・ 往復動ピストン式機関 ( F 0 2 B 7 5 / 0 4 が優先; 予燃焼室の中に弾性的に押される補助ピストンをもつもの F 0 2 B 1 9 / 0 6 )
69/02	・ 消費される燃料に無関係の機関を除いた異なった燃料形式のためのもの, 例 . 軽質燃料から重質燃料に転換し得るもの	75/40	・ その他の往復動ピストン式機関
69/04	・ ・ 気体状燃料およびそうでない燃料のためのもの	77/00	構成部品, 細部または付属品で他に分類されないもの
69/06	・ 異なったサイクルのためのもの, 例 . 2 サイクルから 4 サイクルに変換し得るもの	77/02	・ 燃焼ガスにさらされる部分の表面をカバーするもの (ピストン F 0 2 F 3 / 1 0 ; シリンダまたはシリンダヘッド F 0 2 F 1 / 0 0 )
71/00	自由ピストン機関; 回転する主軸のない機関	77/04	・ 燃焼機関の清掃, その内部の腐食または侵食防止または内部の望ましからざる付着物の付着防止
71/02	・ その始動		
71/04	・ 特殊な用途のためのそのような機関の応用; それにより駆動される装置とそのような機関との組み合わせ		
71/06	・ ・ 自由ピストン燃焼ガス発生装置		
73/00	2 つまたはそれ以上の機関の組み合わせで, 他に分類されないもの		
75/00	その他の機関, 例 . 単シリンダ機関		

前記メイングループに分類されているもの以外の部分で適切な特徴を有する機関

- 77/08 ・安全装置，指示装置または管理装置（断熱材について F 0 2 B 7 7 / 1 1 ；排気ガスの処理装置を監視または診断する装置 F 0 1 N 1 1 / 0 0 ）
- 77/10 ・ ・ クランクケースの破裂に関する安全装置
- 77/11 ・断熱または遮音 [ 3 ]
- 77/13 ・ ・ 遮音 [ 3 ]
- 77/14 ・ユニットとして組み合わされた機関駆動補助装置
- 79/00 内燃機関のなじみ運転（それらの潤滑 F 0 1 M 7 / 0 0 ）